

高本一臣議会だより

【せいせいじんわ】

政清人和

2月号

Vol.11
2018年

政清人和：「政（まつりごと）清ければ人おのずから和す」
出身地でもある旧清和村の村名は、この2文字を得てつけられました。私の政治信条です。

市議会議員の

たかもと

高本

かずおみ

一臣です。

2018年、平成30年も早、ひと月が過ぎました。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、国外では北朝鮮が毎月のようにミサイル発射実験を繰り返し、わが国の平和を脅かす行動は断じて容認できず、大変残念でなりませんでした。

一方、国内では突然とも思えた衆議院解散、そして総選挙が行われました。結果は、政権与党である自民党の勝利でした。責任政党としての役割を果たしていかなければなりません。

本市におきましては、「熊本震災」からの復旧・復興に向けて、一日でも早く市民の皆さんの生活が元に戻るよう、安心して暮らせるよう取組んでまいりました。

しかしながら、まだまだ残された課題は多く、財政状況は依然厳しい状況です。本年は、その解決に向けて

市民の皆さんと知恵を出し合

い、助け合い、協力し合い、「完全

復旧」から「創造的復興」へと、更に

スピード感を持つて全力疾走しなけ

ればなりません。また、市議会議員に

よる職員への不当な要求により、市

民の皆さまには議会に対しての信頼

を失墜させてしまいました。

このことは、決して、他人事ではな

く自身も政治を志したときの気持ち

「政清人和」を常に忘れることなく、

残された二期目の任期を全うして参

ります。

更なる、ご指導を宜しくお願い申

上げます。

市政報告会のお知らせ

毎年恒例の高本 一臣の

市政報告会を開催予定しております。

詳しい日程は後日別途ご案内させていただきます。

皆様の参加を心よりお待ちしております。

日時 3月下旬予定 会費 1,000円

場所 白山コミュニティセンター

お問い合わせ・お申し込みは、事務所までご連絡ください。

Tel 227-6296

2017年の活動アルバム

PHOTO REPORT 2017

私が日頃、どのような活動をしているのか、その一部をご紹介します。

市豊組合による、い草支援事業で
保育園へ豊の贈呈



熊本市鍼灸マッサージ師会の方と
市長へ要望活動



熊本ヴォルターズ激励会にて

全国日台議連役員で
台湾総督府を訪問



第三回日台交流サミットin熊本



焼きそばを担当させて
いただきました。



出水南校区七町内夏祭り

白山校区防災訓練



今年も白山二町内地蔵祭で
お手伝い



後援会 ご加入のお願い

主に、後援会活動や議会だより発行の経費等に使用させていただきます。
勿論「議会だより」はもとより、その都度いろんなご案内をさせていただきます。
各年毎の更新となりますが、
ご協力頂けます方は高本一臣 後援会事務所までご一報下さい。

後援会【年会費】 一口 2,000円

高本一臣議会だより

政清人和

SEISEIJINWA

【せいせいじんわ】

Vol.11
2018年2月
〈2月号〉

高本一臣 事務所

Tel 096-227-6296

〒862-0976 熊本市中央区九品寺5-2-47 Fax 096-227-6297

〈Eメール〉 wakideruchikara@gmail.com 〈ホームページ〉 <http://takamoto-k.com>

一般質問報告



(答弁) 大西市長

昨年の第3回定例会(9月)において、一般質問を行いました。質問内容と答弁を一部掲載いたします。

地方自治の
二元代表制について

1

小池百合子東京都知事が都民ファーストの会の代表として、議会改革を真正面から掲げ、臨んだ都議選。結果、圧倒的な勝利をおさめ、都民ファーストの会は都議会で最大会派となりました。都議選を通して大きな論点の一つになったのが、首長と議会の二元代表制に関する議論であります。二元代表制は車の両輪に例えられるよう、適切な緊張感と距離感をもって、市長と議会が互いに連携していくことが望ましいと考えますが二元代表制の意義と今後の地方政治のあるべき方向性をお尋ねいたします。

地方自治における二元代表制の意義は、住民の代表である議会と市長がそれぞれ立法と行政をつかさどることで、チェックアンドバランスを図りながら自治体運営を進めていくことであります。

二元代表制が機能するには、市長と議会が日ごろから十分な連携をとっておく必要があり、私は重要な政策案件等、議会に対し計画立案段階からの説明や意見交換を行うことで、建設的な議論を深めることができるよう心がけているところです。市長と議会がそれぞれの立場で切磋琢磨し、適度な緊張と緊密な連携を図り、公の場における議論を通して市民のためのよりよい市政を実現していくことが二元代表制のあるべき姿であります。

○答弁を聞いて

さすが議員、首長ともに経験されているだけに、その考え方については、採点させ

ていただくならば100点満点。まさしく二元代表制を機能させるには、双方が日ごろより十分な連携を行い、特に重要な政策案件については、議会に対して計画立案の段階から説明や意見交換を行うことにより、建設的な議論を深めることを心がけることが肝要であり、私も同感であります。首長と議会の関係は、一歩離れて二歩離れず、適度な緊張と緊密な連携を図りながら、市民の皆さんのためによりよい市政の実現に向けて努力していかねければならないと考えます。

今回は、市長の二元代表制に対する答弁を踏まえて、次のような本市の重要事業についてお尋ねしました。

日本たばこ産業株式会社
熊本支店跡地について

2

地元新聞紙によれば、7月24日、本市と日本たばこ産業株式会社熊本支店とが、同社跡地の売買契約に関する覚書を締結し、2020年4月末まで本市が無償貸借し、この間は本市が管理し、熊本城復旧工事の資材置き場として暫定活用する予定だと報道されましたが、疑問点や懸念材料が払拭されないまま物事が進められていると感じております。

まず、疑問点として、本市は熊本地震による財政影響を縮小させるため、歳入面において未利用地の売却を進めているが、未利用地を売却しながら、正式に利活用策が決定していない段階で、日本たばこ産業株

式会社熊本支店跡地を購入しようとしていること。

懸念材料としては、土地購入には予算が必要となるが、議会における議論を終えずに売買契約に関する覚書を締結されること。

万が一、土地購入に係る議会審議がスムーズに進まない場合には、相手方の日本たばこ産業株式会社に多大な御迷惑をかけることが懸念されます。

そこで、市長に2点のお尋ねです。

1点目、歳入面の改善策として未利用地を売却している中、利活用が決定しておらず、未利用地扱いとなる日本たばこ産業株式会社跡地を購入する根拠についてお尋ねします。

2点目、議会における議論を終えずに売買契約に関する覚書を締結されましたが、執行機関としてどこまでが政策決定できる範囲なのか、お尋ねいたします。

(答弁) 大西市長

同跡地は熊本城の旧域内に位置し、歴史、文化的価値が極めて大きく、経済観光面からも重要な地区であることから、もし民間企業へ売却されることとなれば、熊本城と一体となった利活用に支障を来すことも考えられることから、購入に向けた協議を行うことを決断したものです。

また熊本城の再建にストックヤード等が必要なことから、日本たばこ産業株式会社に、復興計画期間中は無償で貸与していただくよう求めた結果、御了解をいた

だき、本年7月に同社との間で熊本支店跡地に関して、当分の間の無償貸借及び将来的な売買契約に向けた協議に関して基本的な事項を定めることを目的とした覚書を交わしたものです。

今後は、同跡地の具体的な利活用について、議会はもとより専門家や経済界など幅広い御意見を拝聴しつつ、熊本城の魅力向上はもとより、復興に資する案を取りまとめながら、国庫補助の活用など財源についても検討してまいりたいと考えております。

なお、執行機関としての政策決定できる範囲については、今回の覚書は、復興計画期間中の無償貸与とその後の購入に向けた協議を行うことを執行機関の責任において締結したものであり、改めて不動産を取得する際には、市議会の議決をいただいた上で実施することとなります。今回は、公有地拡大法に基づく時間的な制約があったことから、議会と十分な議論を行うことができませんでしたが、今後は議会と十分に情報共有を図りながら検討してまいりたいと考えております。

NHKの跡地について

3

NHK放送局が中央区千葉城町から花畑町に移転新築され、数年前を振り返れば、このエリアは当初劇場を含む複合ビルの再開発事業が検討されたものの、調整がつかず、NHKが単独で移転されることになりました。花畑地区再開発事業の計画見直しや熊本地震の影響も乗り越えての移転開業は、震災からの復興をアピールできる明るいニュースでもあります。一方、千葉城町の跡地につきましては、その方向性が明らかになっていません。平成24年当時、NHKは熊本市を念頭に跡地売却を考えていく旨が報道されており、これまでの間、何かしらのアプローチが本市にあっているのではと推察されます。

千葉城町のNHK跡地について、どのようなアプローチがあっているのか、また基本的には旧熊本城域として日本たばこ産業株式会社熊本支店と同様の対応となるのか、お尋ねいたします。

(答弁) 大西市長

NHK熊本放送局跡地は熊本城の旧域内に位置し、千葉城跡として歴史、文化的価値が極めて大きいことから、遺構の保存や景観の保全が必要な地区であり、熊本城の復旧はもとより、100年先の復元整備を見据えた上で重要な地区であると認識しています。

当該跡地や建物につきましては、平成29

年6月の花畑町への移転後、使用していない状態と伺っておりますが、NHKからは売却などその後の利活用について、現時点では未定であると聞いており、跡地につきましては、千葉城地区の将来的な利活用や財政状況等を十分に考慮した上で、今後市議会とも十分な情報共有を図り、御意見を伺いながら対応を検討してまいりたいと考えております。



○答弁を聞いて

NHK跡地については、現時点では未定であるとの答弁でしたので、アプローチがあっていないのだと理解いたしました。しかし、民間企業が移転するとき、跡地の方向性を考えないはずはないと思うので、その点については疑問が残ったところであります。

また、跡地は重要な地区と認識しているから、議会とも十分な情報共有を図り、意見を伺いながら対応を検討していきたいとの答弁でした。議会との議論が不十分だった日本たばこ産業株式会社跡地のような対応とはならないと理解いたしました。情報の提供が遅れると、議会も短期間での判断を迫られ、十分な議論ができず、判断に支障を来すおそれがありますので、市長には、くれぐれも二元代表制についての答弁を忘れることのないよう、お願いしました。

〈その他〉

地域経済の成長戦略について

4

- ①人口構造がもたらす課題への対応について
- ②働き方改革、同一労働同一賃金について

第5次行財政改革について

5

- ①市政に対する市民の評価について
- ②社会保障・税番号制度の活用について
- ③アウトソーシングの推進、国民健康保険業務の民間委託について

熊本地震関連について

6

- ①災害救助法における県から政令指定都市への権限委譲について
- ②仮設住宅の供与期間延長について
- ③住まいの確保について
- ④公共事業の入札不調について

マンションが抱える課題に対応する専門部署の設置について

7

さくらカードの方向性について

8

校区と行政区のミスマッチ解消について

9

以上のことについて、質問しました。

紙面の都合上、詳しくは、熊本市役所ホームページで熊本市議会の会議録を検索して閲覧下さい。今後の予定として、3月13日の予算決算委員会、6月の定例会において一般質問をさせていただきます。